

手を絆ごう明日の未来へ



題字・故 上野賢賢先生
発行所
駒澤大学高等学校
同窓会
正会員数 25,922名
東京都世田谷区上用賀1丁目
〒158-8577 TEL.3700-6131代
FAX.3708-7291
振替口座 0018-6-61881
http://komakou-dousokai.net
E-mail:dosokai@komazawa.net

平成二十三年度

役員総会開催報告



同窓会会長 妻倉由明

五月二十八日(土)午後四時定刻、新宿ハイアトリージェンシー東京において出席者二十五名、委任状五十三名(役員総数四七六名)の役員諸氏の参集をいただきました。

鈴木俊孝(二十五期)庶務の司会で、冒頭「今回の東日本大震災により、被災された方には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。」と大震災後二ヶ月経過したこの日総会の開催宣言から始まり、妻倉由明(十六期)会長より、「雨の中、またお忙しい中、ご足労いただきまして有難うございます。平成二十三年度議事七件のご審議及び同窓会六十周年記念総会・式典の成功をよろしく願います。」と述べられ会長挨拶とされた。

鈴木貞雄校長(特別顧問)より、「平成二十二年度はサッカー部、バスケットボール部女子の全国大会出場を勝ち得

武道)【三十年】岩岸孝(国語)【十年】馬場元司(国語)、新井聖(保健体育)への記念品贈呈が行われた。退職者への慰労金は、「専任」田中隆一(数学・退職、四十一年)、伊藤優(理科・退職、四十年)【特任】金田優哉(保健体育・退職、一年)【非常勤】山崎剛(地歴・一年)、中村あい(理科・一年)、進藤桃子(英語・二年)の先生方です。また、全国大会出場記念品としてサッカー応援メガホンを二千五百個寄贈。事業項目で「クラブ助成」は野球部ビッチングマシン、チャリディング部ボンボン四十個、「クラス会助成」の中で五十期B組が表記漏れと追加訂正の発言があった。続いて、議長から出席者の質疑を行い承認された。



平成二十三年度事業計画(案)審議
加藤庶務から、事業計画各項目を読み上げた。「同窓会創立六十周年記念総会・式典」が平成二十三年十月二十三日(日曜日)午前十一時から駒大高校にて行う。これは同月十五日(土曜日)駒大高校で開催準備を進めていたが学校側の都合で開催日変更となり、準備委員会・役員会・常任幹事会にて審議・承認を経てきた経緯を説明。また、記念総会にて、永年勤続者への記念品贈呈が勤続四十年で鈴木貞雄(理科)、「二瓶要功(国語)中島勝彦(数学)が予定されている。「同窓新報」は、六月末に四十六号を発行する段取りを報告、年度内に四十七号を発行する予定。最後に文化講演会の開催が実施されていないので実現させたいと事業計画(案)の説明を締めくく。議長から質疑を行い承認される。

平成二十三年度予算(案)審議
荒井会計から収支計算書(案)を項目毎に読み上げ説明。平成二十三年度卒業生予定数が五〇九名。この数字から「入会金」・「年会費」を算出。また、卒業生の振り込み件数三〇〇名を計上。これは平成二十二年決算で二五〇名強の数字を得たことから収入増加を見込む。「寄付金」・「雑収入」については平成二十二年当初予算を参考に同額を計上した。六十周年記念事業積立金取り崩し収入は、支出の部に、六十周年記念事業積立金」を預金し、総会・式典を開催する時預金を解約して現金化した収入項目に当たる。「前年度繰越金」は平成二十二年決算の「次年度繰越金」を書き写した数字です。以上収入合計に至る構成を説明。支出の部については、「二十三年度は項目毎に圧縮化を図り役員会・常任幹事会で審議をしていただきました。」と述べ、二十二年予算と比べながら二十三年度予算を項目毎に説明。「事務費」は圧縮、「住所管理委託費」は年間運営費が二十三万円契約。それに年間作業で別途発生する費用プラスαを見込み計上。「通信費」・「会議費」は圧縮、「慶弔費」はそのまま。「同窓新報発行費」は、新聞の配布手段が従来郵便を使っていたところをメール便に改め圧縮としました。「クラス会助成費」・「クラブ助成費」・「文化活動費」・「六十周年記念事業準備金」はそのまま。「六十周年記念事業積立金」は最終年の年額積立金を計上。「六十周年記念事業費」は準備委員会にて審議承認額計上。「校地購入寄付積立金」は校舎南側隣接地の購入計画に対しその寄付を積み立て形式で準備するため計上。この件は、鈴木校長から補足説明をいただき、「校舎南側隣接地が、平成二十六年転地予定。その土地が競売公示あれば参加し、校地拡大を図りたい。目標は千五百坪から二千坪を計画している。」続いて、「六十周年記念事業への補助費支出」は、記念総会・式典の経費として計上。「次年度繰越金」は、収入の部「合計」額から支出の部「小計」額を差し引いた額を計上。全ての構成項目を説明し収支計算書を報告した。議長から質疑に移り、「校地購入寄付積立金」の計上額が小さいのではないかと倍増してはどうかの問いに議長より役員会預かりで今年度以降に検討する旨発言され、他には無いことを確認され予算(案)は承認された。

創立60周年記念総会・懇親会のお知らせ

駒澤大学高等学校同窓会

開催日：平成 23 年 10 月 23 日 (日)

会場：母校にて

議長から出席者に伺いたい、無いことから全ての審議終了宣言を行い議長の任を終えることが出来た謝意を述べ司会に戻した。司会から、役員総会閉会の宣言をした。

その後、小休止をはさんで懇親会を別室に移し、同窓会六十周年記念総会・式典への成功を祈りつつ、和やかに歓談の華が開き役員総会・懇親会が終了しました。(あらい)

恩師の肖像

退職にあたり

「緑の甲子園」

伊藤 優



月日の経つのは早いもので、還暦を迎えると同時に同級生から定年退職の挨拶状が多くなった。

還暦祝をした年の秋に胃癌と診断され、胃の全摘手術と治療の為一年間の休職となった。あと三年職責を全うし

「定年」で句切りをとる思いでしたが、抗がん剤の副作用もあり、体力・気力の面で復帰は無理と判断し今年三月退職しました。

思い起こせば、昭和四十六年四月、理科(化学)の専任教諭として本校に採用された。

初年度は私より四歳違いの三年生十一クラス二十二時間の授業を受け持った。初めての授業は、前列の体の大きい生徒達に圧倒され緊張で何を話したか覚えていない。自己紹介し、「化学」の語源を話したように思う。新米教員が一步踏み出した。

同じ教科担当の馬場先生には授業指導、学校生活全般、お酒の嗜み方まで教えて戴いた。

小野先生から「野球部の活動を手伝ってくれないか」と

足させた。

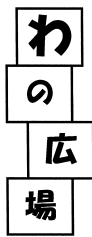
二年後、「文部大臣旗争奪全国高校ゴルフ選手権大会」、愛称「緑の甲子園」(四名による団体戦)。第一回大会が

が校は記念すべきこの大会に関東地区代表として出場した。そこで優勝校のレベルの高さに驚かされた。以後、部員のゴルフへの取り組み姿勢も変わり、第二回・第十回大会と出場して行くことにな

る。夏の全国大会「緑の甲子園」は、早いもので今年で三十二回(駒大高ゴルフ部の歴史でもある)を迎える。意気ある卒業生は大学ゴルフ部に所属し、我が校の存在をアピールしてくれた。永くゴルフ部長を勤められた経営学部・渡邊恵一郎先生から「付属から来る選手は頑張っている。」とお褒めの言葉を頂いた。

毎年、ゴルフ連盟への参加校数が増えて行く状況下で理事に推薦され、役員を歴任す

会員だより



近況報告

四十八期C組

大澤(石川)美由紀

三月十一日、私は仙台市内の自宅で東日本大震災に遭いました。揺れを感じ始めて携帯電話の緊急地震速報が鳴り、間もなく非常に強い揺れを感じました。住まいが五階ということもあり、実際以上に大きく感じたのかも知れませんが、まるで船に乗っているような周期の長い揺れで、時間も長く、建物が崩れない

ることとなった。春・夏の全国大会、等の準備・運営に関わり、春と夏休みは忙しい日々が続いた。学校側の活動に対する理解もあり、高校ゴルフ連盟の重責を果たすことができた。

いつの日か、「夏の甲子園」・「緑の甲子園」の出場を夢見て・・・。

思い浮かぶままに書いてみました。

学級担任として八度卒業生を見送ってきた。たくさん

の教職員・卒業生にお世話になりました。お陰様で充実した教員生活ができました。心から感謝申し上げます。

最後に駒澤大学高校・同窓会の益々の発展を祈念し筆を置きます。

ことを祈りながら、必死に揺れに耐えていたことを覚えて



棚の食器類が落ち、台所もぐちゃぐちゃにはなりました

が、それほど大きな被害はな

く、怪我もせずすみしました。子供がおんぶで昼寝中だったのが幸いでした。

外に避難してからも、余震が止むことはありませんでした。また、突然の吹雪に襲われ、不気味に感じました。夫と合流し車の中で待機しながら、カーナビのTV映像で津波を目撃し、言葉を失いました。

思っていた以上に広範囲で巨大地震が起きたことを、その時初めて知りました。

余震の合間を縫って必要なものや防寒具、毛布や寝袋を取りに家に戻りました。その晩から避難所(近くの中学校)で過ごすことになり、大変役に立ちました。自治体からの指示もない中、中学校の先生方が中心になって動いてくださいました。非常食や水のペットボトルの配布、自家発電による点灯、ストーブで暖をとることができ有難かったです。

私の住んでいる地域は海からも離れており、ニュース等で報じられているような災害には至りませんでした。しかし、物資は不足している上

手に入れるには何時間も並び、その上、限られた品数しか買えないような状態でした。大人は我慢できますが、子供や特に乳児がいる人は不安も大きかったと思います。ミルクやオムツの不足、母親の精神的な負担や食べ物次第で母乳も思うように出ないこともあります。ミルク自体があってもお湯がなければ作れません。

十三日に五時間並んでガソリンを給油し、十四日に庄内へ移動、十五日に庄内空港から羽田空港へ来ました。そこでやっと少し緊張感から開放されました。

以前から宮城沖地震が来ると言われていて、ある程度覚悟はしていたものの、実際体験すると非常に怖かったです。しばらくは「地震酔い」や、緊急地震速報のアラームに鼓動が早くなったりしていました。

今では気持ちも落ち着き、余震の回数もだいぶ減ってきたこともあり、五月の連休に自宅に戻ってきました。ライ

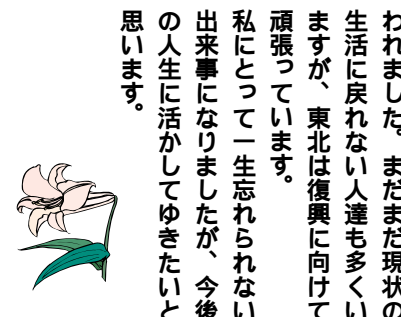
フライングは水道・電気・都市ガスの順で復旧しましたが、ガスはほぼ一ヶ月かかりました。

津波の被害を受けた地域以外、所々地震の傷跡は残っているものの、震災前と変わらないほどに活気が戻っているように感じます。地場物の魚などを店頭でみることもできないことが残念です。

今回の大地震で天災の凄まじさを身をもって知りまし

た。日頃の備えはもろろ周りの人達と助け合うことの大切さや有難さを痛感しました。不安な中でも、周りの人達がいたおかげで精神的に救われました。まだまだ現状の生活に戻れない人達も多くいますが、東北は復興に向けて頑張っています。

私にとって一生忘れられない出来事になりましたが、今後の人生に活かしてゆきたいと思っています。



O B O G 会

- | | | |
|------------------------|-------------|-------------|
| 地理研究部 参加14名 | 平成22年3月27日 | 顧問 佐藤 元 先生 |
| 北の味「北海道」 恵比寿ガールズ 参加20名 | 平成22年7月24日 | 顧問 眞間 馨 先生 |
| 卓球部 参加25名 | 平成22年4月11日 | 顧問 安達 裕好 先生 |
| 駒大高校旧体育館 | | |
| 報告者 千谷 眞市 先生 | | |
| バスケットボール部男子 | | |
| 平成22年7月24日 | | |
| 顧問 眞間 馨 先生 | | |
| 駒大高校・用賀・村さ来 | | |
| 報告者 眞間 馨 先生 | | |
| 音楽部 参加31名 | 平成22年8月15日 | 顧問 濱田 敏明 先生 |
| 駒大高校第2A V教室 | | |
| 報告者 大竹 剛 先生 | | |
| 剣道部 参加50名 | 平成22年11月6日 | 顧問 朝内 賢光 先生 |
| 駒大高校修道館 | | |
| 報告者 権田 義一 先生 | | |
| テニス部男子 参加8名 | 平成22年12月28日 | 顧問 中島 勝彦 先生 |
| 二子玉川「和」 先生 | | |
| 報告者 小林 勇介 先生 | | |
| 剣道部 参加40名 | 平成23年1月9日 | 顧問 朝内 賢光 先生 |
| 駒大高校修道館 | | |
| 報告者 権田 義一 先生 | | |
| 平成22年5月29日 | | |
| 担任 井上 保広 先生 | | |
| 平成22年9月25日 | | |
| 担任 G組 寺崎先生 | | |
| 報告者 外山 朋矢 先生 | | |
| 平成22年11月13日 | | |
| 担任 宮 健二 先生 | | |
| 箱根湯本「光明」 先生 | | |
| 報告者 平沢 正一 先生 | | |
| 平成23年2月12日 | | |
| 担任 玉置 和夫 先生 | | |
| 新宿「月の雫」 先生 | | |
| 報告者 伊藤 まゆき 先生 | | |
| 平成23年2月27日 | | |
| 担任 佐藤 正 先生 | | |
| 新宿「栄寿司西口店」 先生 | | |
| 報告者 三戸 拓 先生 | | |
| 駒大高校ホームページから抜粋しました | | |

会費・寄付金納入者芳名

平成二十年度から納入された芳名者におかれましては、左記に掲載させていただきます。遅くなつて申し訳ありませんでした。

(会計担当)

二十年度(敬称略)

〔学校関係者〕 鶴飼英雄・後藤啓道・市川弘泰
〔二期〕 河野純香・原正男・吉田吉恵・岐津芳男・桑木幹雄・佐藤園枝・薄井秀夫
〔二期〕 茂林道龍・石井清繁
〔四期〕 菅間一成・田上太秀・渡辺忠・谷口武
〔五期〕 眞田治孝
〔六期〕 阿頼耶徹心
〔七期〕 中森昶會
〔九期〕 高村仁・名倉輝光・田中敬一
〔十期〕 篠誠次・徳山康二・向井三陽
〔十一期〕 杉山孝・立松敬三・竹村眞人・美原清
〔十二期〕 鈴木正義・林一義・佐久間召一郎
〔十三期〕 瀧見俊之・表勝昭・三石勝
〔十四期〕 黒沢英行・大澤安幸
〔十五期〕 池口忠信・宮田利徳・塚本智雄
〔十六期〕 松尾泰英・今井義博・馬場敏雄・石井光彦・本田隆志・腰塚(喜多村)正章・加藤祥司
〔十七期〕 浮島敏男・野村利明・安本哲夫・加藤啓志・向笠滋
〔十八期〕 関直純・多田豊・續道雄・上杉和夫・山崎敬三・久保達夫
〔十九期〕 三浦信孝・野田義

宣・岡部博文・佐々木俊道・加藤秀宣・山口幸司
〔二十期〕 星野隆光・荒井伸夫
〔二十二期〕 山崎猛・新崎和文・柴田晃伸
〔二十三期〕 海老保・野寄一・飯塚明彦・鈴木真
〔二十四期〕 森吉仁・野本育・杉本義広・町田季実彦
〔二十五期〕 横山良太郎・大瀧祐賢・高村輝久・渡会元紹・浜崎保寿
〔二十六期〕 小山善之・尾澤克広・早坂不二男
〔二十七期〕 飯島敏彦・田崎博識・椎本邦一・過外章道
〔二十八期〕 原田浩明
〔二十九期〕 飯島秀剛・吉田利明・小林敏夫
〔三十期〕 川崎光洋・小野瀬康行・佐藤純一
〔三十一期〕 矢口敦弘
〔三十二期〕 伊藤竜一・前田幸樹・村岸年延・佐藤明彦・佐藤義人
〔三十三期〕 今井誠司・市川俊洋
〔三十五期〕 吉田正幸
〔三十七期〕 佐田圭穂・内田祐生・奥島信明・猪俣恭幸
〔三十九期〕 坂本隆行・岡田実智稿・小木剛
〔四十期〕 加藤弘之
〔四十一期〕 原田寿一
〔四十二期〕 小柳智海・五味伸浩
〔四十三期〕 田島寛之・野村利和・山口(井黒)敦士
〔四十四期〕 久野昭紀
〔四十五期〕 遊城充可・塚本智章
〔四十六期〕 原田達也・萩原信介・白石勇樹・坪井良樹・

越山正観

〔四十七期〕 三井裕
〔四十九期〕 榎方宣之
〔五十一期〕 佐々木正俊
〔五十四期〕 国生祥雄・国生徹雄・森山和之・池田淳司
〔五十五期〕 佐々木隆俊
〔五十六期〕 田中晶子
〔五十七期〕 古郡直・近藤聖志
〔五十八期〕 町田和宏・山保奈美・仲沢有紀・渡部良輔・川股陽太郎

二十一年度(敬称略)

〔学校関係者〕 千葉義担・若月
〔二期〕 吉富勝一・前尚史・水島貞夫・河野純香・中山重雄
〔二期〕 井上健三
〔三期〕 橋本信義
〔五期〕 井坂都男
〔八期〕 濱田好晃
〔九期〕 高村仁・柳原義光
〔十期〕 澤田幸雄・関根正晴
〔十一期〕 日南田義一
〔十二期〕 納谷僚一・金子勝治
〔十三期〕 堤崇
〔十五期〕 菅沼勉・山上健一・清野幸俊・池口忠信
〔十六期〕 犬塚高明・操優一・橘智雄
〔十七期〕 盛田昇・鹿島廣・井上清・矢島岩雄・小林悟・見理文之・高津一仁
〔十八期〕 細川泰徳・塩山実
〔十九期〕 岩佐善公・野田義宣・三浦信孝
〔二十期〕 大塚一徳・小林正治・貫江博之・中川健二
〔二十一期〕 白倉新治郎・森島洋平・野田素裕
〔二十二期〕 深谷吉裕・横川孝夫
〔二十三期〕 伊藤良一
〔二十四期〕 野本育・志田英郎

〔二十六期〕 福島徹・小林均・入澤忠義・五十嵐一昭
〔二十七期〕 宮内孝之・大塚勉・由良一洋・上條晴久・鈴木文彦・白浜勇一
〔二十八期〕 大風忠彦・野原正恵・青木宏始
〔三十期〕 岡部武・吉原健次・長瀬恵則・鈴木久人
〔三十一期〕 遠藤広一
〔三十三期〕 井上誠二・二橋英之・富澤憲司
〔三十四期〕 関根正登・中村浩之
〔三十五期〕 眞田幸孝・村上健
〔三十六期〕 内藤賢二・佐枝浩孝
〔四十期〕 富田恵孝・羽場敬仁・葛西功
〔四十一期〕 松本一郎・山口拓・豊田紀昭
〔四十三期〕 片野貴人
〔四十四期〕 山下大
〔四十五期〕 横山勇・市原英典
〔四十六期〕 野澤孝大・萩原信介
〔四十七期〕 井上智晴
〔四十八期〕 市原武史・神山絵美・長山靖・大村慎太郎・牧野高子
〔四十九期〕 沼田尚之
〔五十期〕 花山智恵・安住啓太
〔五十一期〕 勝川孝一・大村俊一
〔五十二期〕 熊谷綾・見理美希
〔五十五期〕 澤田学・奥本祐太・長谷川恭平
〔五十六期〕 越浦純・森健介
〔五十七期〕 高橋大地・横山直人・内山優里・芥田俊輔
〔五十八期〕 石黒潤・大石美幸・津嶋由佳・飯田美奈子・飯塚友吏・太田悠介・佐藤真希子・佐々木智章・長谷佳林郎

二十一年度(敬称略)

〔学校関係者〕 後藤啓道・馬場捷美・大山定隆・市川弘泰・柏崎康利・須賀喜一郎
〔二期〕 吉田吉恵・小池一郎・古郡隆男・前尚史・水島貞夫・桑木幹雄・佐藤銀重・河野純香・中山重雄・原正男
〔二期〕 茂林道龍・佐々木正純・石井清繁
〔三期〕 谷口法山・島田寿三・大谷康憲
〔四期〕 田上太秀
〔五期〕 眞田治孝・井坂都男
〔六期〕 菅田龍一
〔七期〕 中森昶會
〔八期〕 濱田好晃
〔九期〕 田中敬一・加藤泰通・高村仁
〔十期〕 関根正晴・向井三陽・桜井国輝・篠誠次
〔十一期〕 日南田義一・中野東禪・立松敬三・杉山孝
〔十二期〕 佐久間召一郎・北原東洋男
〔十三期〕 堤崇・表勝昭・赤羽公彦・石田充法
〔十四期〕 大澤重靖・黒沢英行
〔十五期〕 菅沼勉・小林仁・山上健二・河村不二雄
〔十六期〕 馬場敏雄・若尾正之・操優一・松村喬・鈴木基公・白井武雄・平野晋・安藤文正・石井光彦
〔十七期〕 野村利明・浮島敏男・吉田克巳・唐戸信和・猿山喜市・盛田昇・佐藤泰道・安本哲夫・岩崎孝和・鹿島廣
〔十八期〕 室井秀雄・續道雄・細川泰徳・神田孝・塩山実・前田隆司・山崎敬三・金子博通・関口恭市・波間俊一
〔十九期〕 青陰文雄・山口幸司・齊藤広志・岡部博文・鈴木康二・加藤秀宣・鈴木康二
〔二十期〕 荒井伸夫・星野隆光・鈴木堯泰・中川健二

〔二十期〕 蛭町正能・加藤一弘・白倉新治郎
〔二十二期〕 山田茂・深谷吉裕・柴田晃伸・加藤明
〔二十三期〕 飯塚明彦・伊藤良一・佐藤千秋・上原一浩・飯嶋正彦・白鳥正志・松谷忠敏・野寄一・濱田雅弘
〔二十四期〕 川澄誠一・森吉仁・志田英郎・野本育
〔二十五期〕 高村輝久・渡会元紹・渡部雅樹・大瀧祐賢・北晴久・足立幸士
〔二十六期〕 小山善之・砂村栄治・小林均・星康則・福島徹・尾澤克広
〔二十七期〕 由良一洋・田崎博識・椎本邦一・上條晴久・飯島敏彦・大塚勉
〔二十八期〕 野原正恵・井上勉・青木宏始・飯塚清貴・藏山大顕
〔二十九期〕 都井孝治・小林敏夫・飯島秀剛・宮崎明浩
〔三十期〕 佐藤純一・鈴木久人・吉原健次・小野瀬康行・長瀬恵則・戸谷浩次・岡部武・島田伸一郎
〔三十一期〕 船越寿光・江川幸夫
〔三十二期〕 藤田浩彦・小笠原清人・村岸年延・遠藤広一・佐藤明彦
〔三十三期〕 井上誠二・二橋英之・酒井清孝・今井誠司
〔三十六期〕 大谷一朗・千葉坦自・大永岳典・佐枝浩孝・村松哲文
〔三十七期〕 内田祐生・奥島信明・中野勉・猪俣恭幸・金子良宏・中川靖郎・池野道明
〔三十八期〕 村越弘昌
〔三十九期〕 小木剛・岡田実智稿・竹田直仁
〔四十期〕 羽場敬仁・吉池寛・富田恵孝・高橋淳史
〔四十一期〕 原田寿一・松本一郎・玄野善識
〔四十二期〕 五味伸浩・酒井

重忠・小柳智海・長内功一朗・小林弘明
〔四十三期〕 野村利和・佐藤宏俊
〔四十四期〕 川合崇文・久野昭紀
〔四十五期〕 市原英典
〔四十六期〕 白石勇樹・新井壘・萩原信介・越山正観
〔四十八期〕 加藤宗弘・市原武史・長山靖・今田俊
〔四十九期〕 榎方宣之・沼田尚之
〔五十期〕 伏見康明・安住啓太・西口克
〔五十一期〕 勝川孝一
〔五十二期〕 熊谷綾
〔五十三期〕 田中敬子・藤井淳
〔五十四期〕 濱田麻衣子・森山和之・池田淳司
〔五十五期〕 新渡戸隆道・澤田学
〔五十六期〕 田中晶子
〔五十七期〕 黒田友恵・高橋大地・八木啓悟・吉成曉生・小張直哉
〔五十八期〕 大石美幸・町田和宏・佐藤真希子・太田悠介・石黒潤・小西哉人・柴田早飛・岡田純子・渡部良輔・阿部真子
〔五十九期〕 黒田龍信・清田朋子・白鳥大・篠山俊介・谷川浩史・北村直樹・落合司・澤井暖・伊達廉
〔六十期〕 西島里枝・佐藤有紗・百瀬主将・阿部秀大・鈴木隆・司馬溪・元木将也・三角紳太郎・茂手木康太・金正泰・吉田恵理・手塚はる菜・安田貴恵・小森寛子
高田博文・伊藤長平・高橋末帆・山下翔一・菊池浩平



